

1. 調査実施の目的

多摩市民の男女平等・男女共同参画に関する意識及び実態について調査を行い、課題及び問題点を把握し、第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画策定のための資料とする。

2. 調査の対象

多摩市内在住の満18歳以上の男女1,500人（住民基本台帳をもとに性別を層化し、等間隔無作為抽出）
（令和元年12月24日現在）

3. 調査方法と回収結果

調査方法：アンケート調査票を郵送配布・郵送回収

調査期間：令和2年1月11日（土）～1月28日（火）

<回収状況>

	発送数	有効回収数	有効回収率
全数	1,500	605	40.3%
女性	750	340	45.3%
男性	750	255	34.0%
その他	—	1	—
無回答	—	9	—

4. 調査項目

調査項目	設問のねらい	調査内容	R 2 調 査	H 27 調 査
1 男女平等・男女共同参画に関する意識	過年度調査との比較による意識の変化及び「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」の認知度をみる	問1 分野別の男女の地位の平等感 問2 性別役割分担意識 問3 女性が職業をもつことについて 問4 性別による役割分担の希望と選択 問5 「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」の認知度	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
2 ワーク・ライフ・バランスについて	ワーク・ライフ・バランスの認知度等をみる	問6 考え方に対する賛否 問7 希望するワーク・ライフ・バランス 問8 実際のワーク・ライフ・バランス 問9 実現のための重要施策	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
3 日頃の生活について	日常生活の各場面における役割分担の実態を探る	問10 夫婦の役割分担 問11 家族介護の担い手	○ ○	○ ○
4 子育てや教育について	家庭、学校における意識及びニーズを探る	問12 子どもにどのように育ててほしいか 問13 学校教育における施策の重要性	○ ○	○ ○
5 暴力（DVなど）について	暴力の実態を把握する	問14 暴力を受けた経験 付問1 暴力を受けたときの相談相手 付問2 相談しなかった理由	○ ○ ○	○ ○ ○

第1章 調査の概要

調査項目	設問のねらい	調査内容	R2調査	H27調査
6 仕事・職場について	就業実態と意向や要望を探る	問15 職業について 問16 働いている理由（有職者） 問17 仕事上の悩み（有職者） 問18 働き方（企業・団体に雇用されている方） 付問 非正規雇用で働く理由（企業・団体に雇用されている方） 問19 昇進の意向（企業・団体に雇用されている方） 付問 昇進したい・した理由（企業・団体に雇用されている方） 問20 職場での性別による差別（企業・団体に雇用されている方） 問21 育児・介護休業の取得・意向（企業・団体に雇用されている方） 問22 今後の就労意向（無職の方） 付問 希望する働き方（無職の方）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
7 性の多様性について	性の多様性の認知度・理解・意識を探る	問23 性的少数者に関する言葉の認知度 問24 同性愛者やトランスジェンダーに対する寛容性 問25 同性婚に対する賛否 問26 性の多様性を意識した指導に対する賛否	○ ○ ○ ○	
8 男女平等・男女共同参画を進める市の施策について	男女平等・男女共同参画を進める市の施策へのニーズをみる	問27 「TAMA女性センター」の周知・利用について 付問1 施設運営上の要望事項 付問2 「TAMA女性センター」の名称について 付問3 「TAMA女性センター」以外の名称について 問28 男女平等参画社会の視点に立った災害に強いまちづくりに必要なこと 問29 多摩市が推進する施策の力点	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
9 男女平等・男女共同参画についてのご意見	男女平等・男女共同参画についての要望や意見を把握する	男女平等・男女共同参画施策への意見	○	○
10 回答者のプロフィール	男女別、年代別等のクロス集計に係る属性指標	F1 性別 F2 年代 F3 家族構成（同居） F4 結婚について 付問 夫婦の働き方 F5 子どもの有無 付問 末子の成長段階	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

5. 報告書の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・性別の選択肢「その他」の回答数が「1」であったため、報告書中の性別に係るグラフ集計においては、全体数には計上されているが「その他」としての掲載は、「基本属性（1）性別」の箇所以外では行っていない。これは回答の傾向をみるにあたり、十分な母数に達さなかったためである。